



飯玉神社の神職に聞く
男女共同参画

飯玉神社 本殿

広瀬団地の集合住宅に囲まれた場所に鎮座する飯玉神社。千年余りの歴史と樹齢500年に渡る2本のご神木が仲良く寄り添うこの神社に、2024年2月から正式に宮司として就任された、夫の代田直弘宮司(注1)と、神職として同じ神社で活動する妻の代田美智子権禰宜(注2)に、神職の男女共同参画について、お話を聞かせていただきました。

(注1)宮司：神職の役職のひとつ。神社の代表。

(注2)権禰宜：神職の役職のひとつ。禰宜(宮司を補佐する役割)を補佐する役割を担う。

❖ご夫婦で神職をされていますが珍しくありませんか？

直弘さん 夫婦共に神職で同じ神社でお使いされている方は、私ども以外にも、県内の神社で何社いらっしゃいます。県外では、海外出身の配偶者の方と神職をされている方もおり、その神社では外国語入りの御朱印があるそうです。

❖ご夫婦で神職をされる良いところ、悪いところがあったら教えてください。

直弘さん 急な出張祭典や用事があり、神社を出なくてはならない時でも、夫婦どちらかが神社に残り対応できるのは良いところだと思います。神職が1人ですと、そうはいきません。

美智子さん 私は、常に一緒に仕事をしているとストレスがたまってしまうので、極力1人の時間を作るように心がけています。宮司は大丈夫みたいなのですが(笑)。

それと、私は神職でもあり母でもありますので、こどもの用事で出かけなくてはいけないときも、ある程度自由が利くところも良いところだと思っています。



飯玉神社 ご神木

❖ 女性神職の現状を教えてください

美智子さん 現在、群馬県の女性神職会には、30名ほどの登録があります。登録されていない女性神職の方もいますので、人数はもっと多いと思います。群馬県はまだ女性神職は少ないと思うのですが、地域によってはかなり増えているのではないのでしょうか。

ただ、まだまだ神職に男性のイメージがあったり、神職の装いでも巫女さんに間違われたりするので、一般的にはまだ認知度は低いと思います。

また、働き方も多様に選べるようになってきており、出産を経て、子育てが落ち着いてから活躍する女性神職もいます。

❖ 飯玉神社の取り組みについて

直弘さん こどもの日や七夕にイベントを企画したり、民間の方のワークショップなどを神社で開催しています。イベントを通して、広瀬町の活性につながれたらと思っています。また、「つなぐまち広瀬の会」を通じ、飯玉神社のある広瀬町のこれからを一緒に考え、行動しています。



代田直弘宮司 代田美智子権禰宜

美智子さん つながり大切に、今後も夫婦で協力して、自分も地域の方も楽しめるようなことをしていきたいと思っています。イベントを通じてたくさんの方に当社へ足を運んでいただきたいと思います。

今回の取材でお話を聞かせていただき、世代交代の問題や、昨今の時代背景もあり、神様にお使いする神職の世界からも、「多様性」を感じました。私も日本の大事な文化、歴史のひとつである神社をこれからも大切にしていこうと思います。

(記事:狩野)

第2回

「みんなが元気になる映画会」を開催します！

映画は、第1回と同じ、菅田将暉さん主演の「サンセット・サンライズ」です。

入場無料です。ぜひお申込みください！

日時 11月30日(日) 13時30分から16時(開場13時)

会場 K' BIX まえばし福祉会館 2階 多目的ホール
(前橋市日吉町2-17-10 前橋市総合福祉会館)

対象 ※抽選となります。

①市内在住・在勤・在学の人 100人

②前回(8/23)の映画会に申し込んでいない人

申込み 二次元コードで(10月31日(金)まで)



申込み二次元コード

※抽選結果については、11月11日までに、お申し込みいただいたメールアドレスにお送りします。